
BASUKEッ子

NATURAL

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BASUKETTSU

【Nコード】

N3500N

【作者名】

NATURAL

【あらすじ】

年があけ新入部員の入ってくる春が過ぎ、夏にはいった頃ある二人のバスケット部がいた。その二人は正反対。しかし、仲の良い先輩と後輩であった。

BASUKEツ子×二人×同じ名前

ミンミン

蝉の鳴く季節・・・それは夏

ダムツダムツダムツ

「先輩！急がないと遅刻しますよ。」

「いけね！ボールついてる暇ねえや。」

ダツダツダツダツダツダツダツダツダツガチャン！

「ふー間にツ合いましたねツ、先輩。」

「あー。はーはーはー」

この二人は家が真向かい同士の中学1年と中学2年のバスケット部。

去年は名前も知らないただの赤の他人だった。

しかし、今年からは違う信頼しあえる仲間、いわゆるチームメイトである。

「攻斗はまた遅刻か？」

「じゃねーし、あと1分あるよ。」

俺の名前は品川攻斗「しながわ しゅうと」自称マイケルジョーダン2世

さっきの後輩は雨沢守斗「あめざわ しゅうと」俺の名前をパクッテいる奴だ。

名前が同じだから二人にコートネームが与えられた俺はアタックン、あいつは、ブロッケンだ。

はージョーダン？世がよかった。

「うるさい、早くバツシュを履け。」
3年生のキャプテンだ。

「はーい」

「よーし、全員揃ったな、ランニングから入るぞ。声出してけよ。」
「はいっ！ー！ー！」

俺達はこの街の中学校24校のうち20本の指に入らないほど弱い、この間の大会では、22位だった。今日は7時半から、12じ半まで練習そのあと2時間ほど昼食タイムがあり20位のチームと練習試合だ。だからキャプテンは張り切っている。

「よし、アップするぞ。1年は2年か3年のどっちかと二人ひと組で組めよ！まずは1歩ずつドリブルしれよ、2、3年は腰落とせよ！」

「はいっ！」

「つぎ1対1バージョンだぞ。1年は抜けると思ったら抜いてけよ。2年と3年の抜かれた奴は1年とベンチ交代だからな。」

ダムダムダムダム

「よしあと少しで山河丘中が来るぞ。だからメンバー発表するぞ。」

4番 みついたかあき 三井孝明 3年生でキャプテン身長は162？ミドルシュートを得意とする。S.F。

5番 おかたやすたき 岡田安滝 3年生で副キャプで身長は167？視野が異常に広い。P.G。

6番 やまにしけんじ 山西賢治 3年生で身長は151？ミスマッチの逆利用を得意とする。S.G。

7番 さわだかんた 澤田貫太 3年生で身長は174？この中学校のバスケット部1の身長である。P.F。

8番 やまにしけんじ 山西賢十 2年生で賢治の弟。身長は147？。S.G。

9番 ひらみあきら 一二三章 3年生で身長は169？で体がとてもゴツイ。C。

10番 さいとうゆづり 斎藤悠里 2年生で身長は158？で3Pを得意とする。S.G。

1 1 番 原西闘牙 はらにしとうが 2 年生で身長は 1 6 4 ? で手を伸ばした時の
スパンが 1 8 0 近くある。 P F。
1 2 番 品川攻斗 しながわしゅうと 2 年生で身長は 1 5 7 ? で 3 P ラインから内
側を得意とする。 S G。
1 3 番 大水藍人 おおみずあひと 1 年生で身長は 1 4 9 ? で 1 年の E イース。 S
F。
1 4 番 沖良介 おきりょうすけ 2 年生で身長は 1 5 9 ? でハンドリングがハ
ンパない、しかし 8 秒が多い。 P G。
1 5 番 佐原栄時 さわらいじ 1 年生で身長は 1 7 1 ? で 1 年生の中で 2 番目
に高い。 P F。
1 6 番 永見建志 ながみけんし 1 年生で身長は 1 7 3 ? で 1 年生で 1 番身長
がでかい。 C。
1 7 番 雨沢守斗 あめざわしゅと 1 年生で身長は 1 4 7 ? でキャプテンと言わ
れている。 S G。
1 8 番 矢崎悠 やざきゆう 1 年生で身長は 1 3 7 ? でバスケット部 1 小さい。
攻撃型 P G と言われている。 P G。

「よゝし来たぞ！」
「よろしくおねがいします」

挨拶をおえ、両チームともにユニフォームに着替え戦闘態勢に入る。
しかし、気合いの入っていたはずの山河丘中のキャプテンはある違
和感があった。それは・・・選手みんなが勝つ気であることだ。

このチームの心がけは『負けない気』でいる。だからである。だが、
キャプテンはあえて言わなかったのである。なぜなら、自分たちで
きづいてほしかったのである。

「よしスターター発表するぞ！」

4 番孝明、5 番安滝、7 番貫太、9 番章、1 0 番悠里。

「カン、カン、ジャンボールは周りを見れよ。」

「はい。」

このチームは当たり前の事を会話するほど弱いのである。

ピーー。

パンツ

最初に“獲った”のは山河丘中であつた。

相手は4番村上、5番中井、6番児島、7番田村、18番五百重
18番の五百重は1年生なのにスタメンで入っているのである。それは彼が小学校時代は、ストリートバスケットを4年間やっていたからである。

「一本確実にいきましょう。」

PGはやはり五百重である。しかしドリブルが奇妙である。高く上げて1回つき、低い位置で2回つき、

また、高い位置に上げて1回つき、低い位置で2回つく事を繰り返して繰り返しながら攻めてくるのである。そのためスティールしにくいのである。

「あ、あのボール簡単に取れますよ」

「え、」

皆が守斗のところを向き目をクリクリさせながら聞く。

「彼が高く上げた時に彼のふところに飛び込むんです。そしたら1度はスティールする事が出来ます。」

「どうして1度なんだ？」

「彼のドリブルからして盗んだものだと考えられます。」

「ぬ、盗む？」

「はい、相手の技を使うことです。なぜなら、高さがバラバラなんです。それに相手の技を盗むことができると言う事は相手の技を“見抜く”事も出来ると言う事です。」

「よしそついうことが・・・よし俺たちの出番だな。な、監督さん。」

「

「ディフェンス、もつと腰落とせ。・・・おまえは2クォーターからだ。」

「チエツ、早く出てー」

「それじゃ、3番使いましょう。」

「3ばぐん」

「おい、章ついてくな！アイソレーションだ！スイッチしろ！」

「え、・・・皆が遠くに・・・いる」

「しつかりしろ章！」

「ごめん」

「たくつ、一本確実にいこ・・・」

パンツ

スルツ

「おい、見たか、五百重がスタイルと同時にダブルクラッチしやがった・・・」

「ちくしよ、おい1年出る準備しろ、藍人、栄時、建志、守斗、悠、行け」

「悠、あいつらにドリブルで攻めるのは無理に近い、だから、まず守斗にパスして俺に回させる。そこから、栄時か建志にパスするか狙うか、お前らにパスするかかんがえるから」

「それより藍人がはこべば？」

「だから、ドリブルが使えないんだよ。」

「メンバーがあれでも。」

山河丘中もメンバーを変えてきた。

13番流星^{りゅうせい}14番冠龍^{かんりゅう}15番？^{たぐや}弥^{たぐや}16番新輝^{しんき}17番隆^{りゅう}

双方1年メンバーだ、しかし、山河丘中は18番の五百重をさげた。まだ8点差なのに1年を出すという事は、それなりの自信があるのだらうと思える。

両方ともに点を重ね5点差に詰め、栄時がリング下で決め、残り7秒で3点差、守斗がボール出しをする選手のボールをスタイルし、

藍人にパスして、3点を打った、負けるのが怖かったのか、新輝がファールしてしまった、藍人が放ったボールはきれいな弧をえがき、ネットに吸い込まれた。22対22で同点の残り4、3秒で藍人のフリースロー、会場は静まり帰っていて、物音ひとつしない状況。このフリースローは技術よりもメンタルが必要になる。藍人が放ったボールが板に跳ね返りリングに当たり出てきそうになっている。しかしリングの中にはいった。ここで山河丘中のメンバーチェンジである。新輝と五百重が交代である。ここで五百重に決められるのはいたい。守斗はすぐにマッチアップを変えればよかったが一足遅く五百重がブザービートでレイアップを決めた。これで1クォーターは23対24で詰めた。

「よし、2クォーターは、4番孝明、11番闘冴、12番攻斗、13番藍人、16番建志、」

「よし、このマイケル・ジョーダン？世がぶっ潰してやる。」

「アタックン、おまえにこのクォーターをまかせる。」

「ほ、本当すかつキャプテン。」

孝明はうなずいた。

「よっしゃ〜ブチかますか。」

2クォーターで点差はどう変わるのか？

キャプテンはどうして攻斗に託したのか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3500n/>

BASUKEッ子

2010年10月9日08時01分発行